



労働図書館
常設展示

「千束屋看板と豊原又男」

千束屋(ちづかや)は、享保5年(1720年)に創業した「日本最古の口入屋慶庵の元祖」とも言われる営利職業紹介所で、大正10年(1921年)に廃業するまで9代200年間、日本橋芳(葎)町で営業していました。

当時使われていた木製の看板は、当館において長年保存展示されてきました。

常設展示として整えるにあたり、その経緯などについて調査。2023年6月より公開しています。



豊原又男

佐久間貞一の影響を受け工場法制定運動に関与。1920年(大正9年)東京府職業紹介所長に就任。関東大震災後、少年職業相談所や知識階級部を設置。1930年(昭和5年)には除隊兵のため軍人部も開設、民間組織であった職業紹介事業を国営による職業安定所に発展させた。

【出典：『現代日本』朝日人物事典』朝日新聞社編刊、1990年】

豊原又男肖像

(『國営前の職業紹介事業』より)

「職業紹介事業の父」豊原又男と千束屋看板のその後

千束屋当主と交流のあった豊原又男は、千束屋廃業の際に木製看板を譲り受けました。その後ご子息が木製看板を職業研究所へ寄贈。幾たびかの組織改編を経て、現在の労働政策研究・研修機構労働図書館へと引き継がれました。

入船亭扇治 略歴

岐阜県出身
昭和61年 九代入船亭扇橋に入門
平成13年 真打ち昇進
受賞歴

国立演芸場花形演芸会銀賞
NHK新人演芸コンクール入賞
林家彦六賞

カルチャー講座『NHK学園』講師
毎回落語と江戸の豆知識を、画像とともに楽しくご紹介
図書館司書の資格を持つ、おそらく唯一の噺家
「本に囲まれて話芸を楽しもう」全国の図書館での落語会がライフワーク



突門未福



入船亭扇治師匠の愛猫こまち

ご縁に感謝です！
と図書館の人は言ってるにや

特別イベント「入船亭扇治 独演会」開催について

常設展示作成のため千束屋について調査中だった労働図書館スタッフは、ある日インターネット上で、千束屋について触れているブログ「扇治のらくご的図書館」を発見。ブログ所有者の入船亭扇治師匠から情報のご提供をいただきました。それがご縁となり特別イベントを開催することとなりました。千束屋の名前が登場する落語も...? 皆様どうぞお楽しみください。

独立行政法人
労働政策研究・研修機構 労働図書館
<https://www.jil.go.jp/lib/>



労働図書館常設展示 特別イベント『入船亭扇治 独演会 (落語+ミニ講演)』

開催日：2024年1月16日(火曜) 時間：開演18時30分(開場18時)

場所：労働政策研究・研修機構2階 大会議室